

京都大学大学院医学研究科医療経済学分野
『医療の質と経済性に関する実態調査』について

当センターでは、より質の高い医療・公衆衛生の向上のため、私達が行っている医療の内容を客観的に評価しながら、さらに改善させてゆくことが大事だと考えております。

そこで、当センターでは研究機関と協力して、お受けになった入院および外来診療に関するデータを完全に匿名化した状態で収集して客観的に分析し、医療や施設運営の質を一層向上させることをめざして下記の研究事業にデータを提供しています。

研究課題	医療の質と経済性に関する実態調査
研究代表者	氏名：今中雄一 所属研究機関：京都大学大学院医学研究科医療経済学分野

研究参加と既存情報の提供についての公開情報

- ① 試料・情報の利用目的及び利用方法、他の機関へ提供方法：
匿名化された診療報酬データ（DPC データ）を、医療の質と活動の実態調査を行い公衆衛生の向上に与する目的に、暗号化通信による電子的送付あるいは追跡可能な宅配等により、京都大学へ提供します。
- ② 利用し、又は提供する試料・情報の項目：
厚生労働省により規定され作成された DPC データ（年齢・性別、病名、手術・処置・薬剤等の種類、外来受診回数、入院期間、医療費など）。
- ③ 利用する者の範囲：
「医療の質と経済性に関する実態調査」を実施する研究者
研究責任者：京都大学大学院医学研究科医療経済学分野教授 今中雄一
研究実施体制は研究責任者によるホームページをご参照ください。
<http://med-econ.umin.ac.jp/disc/>
- ④ 試料・情報の管理の担当者（責任者）：
大阪急性期・総合医療センター 医療情報部 診療情報管理室

本件にご質問・ご意見がございます場合には、ご遠慮なくお問い合わせください。